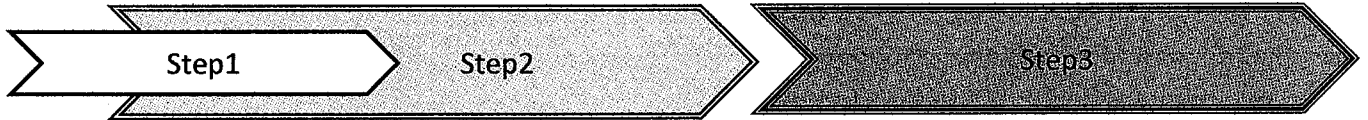
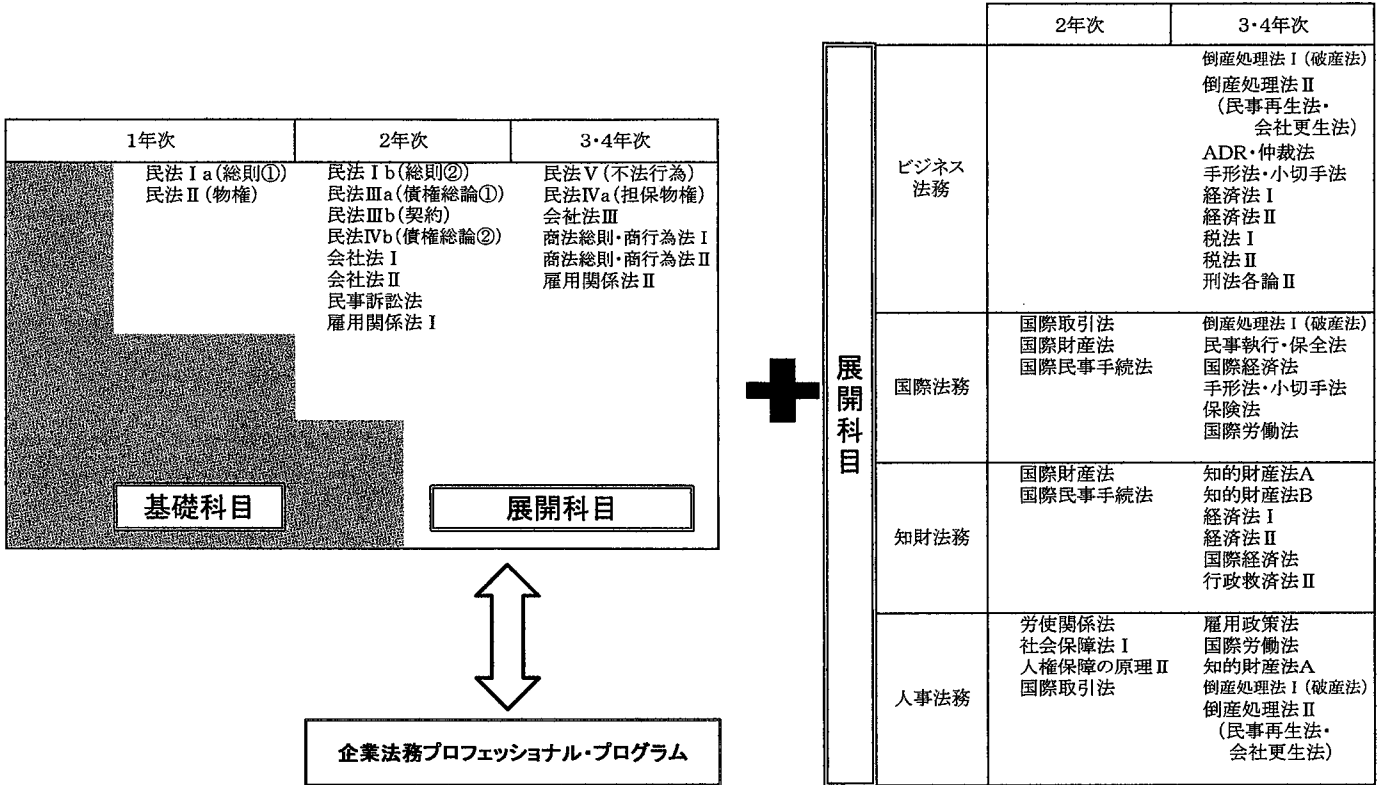


法律学科 履修モデル

【企業法務モデル】

企業人に必要な法律知識を身につけたい学生や、企業の法務部への就職を目指す学生向けの履修モデル



Step1
各法領域の基礎的な知識を身につけるために基礎科目を履修する。

Step2
展開科目のうち、企業法務に共通して履修が推奨される講義科目を配置している。順次履修することが望ましい。

Step3
「ビジネス法務」「国際法務」「知財法務」「人事法務」の科目群から、各自の問題関心に合わせて選択履修するとよい。
「ビジネス法務」－展開科目のうち、企業活動にかかわる法領域から企業法務にとって必要な素養を修得するために推奨される講義科目を配置している。
「国際法務」－展開科目のうち、企業の国際法務の分野で活動するのに必要な素養を修得するために推奨される講義科目を配置している。
「知財法務」－展開科目のうち、企業の知的財産管理の分野で活動するのに必要な素養を修得するために推奨される講義科目を配置している。
「人事法務」－展開科目のうち、企業の人事管理の分野で活動するのに必要な素養を修得するために推奨される講義科目を配置している。

企業法務プロフェッショナル・プログラム

企業法務プロフェッショナル・プログラムでは、企業と共同で法学教育を実践する。中でも最大の特徴が、企業の法務部門でインターンシップ(研修)を実施する『リーガル・フィールドワーク』で、これは、実務・就業体験を目的とした一般的なインターンシップとは違い、「生きた法律の現場で課題を追求する」という法学教育の目的に即したプログラムである。展開科目の履修と併せてこのプログラムを履修することも可能である。